

警察庁、国土交通省及び環境省同時発表

平成 25 年 10 月 31 日
エコドライブ普及連絡会

11 月はエコドライブ推進月間です！！
～地球と財布にやさしいエコドライブを始めよう～

警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省で構成するエコドライブ普及連絡会では、11 月を「エコドライブ推進月間」として、エコドライブの普及・推進を図っています。

1. エコドライブ推進月間について

エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用)の取組については、平成 18 年度に策定した『エコドライブ普及・推進アクションプラン』に基づき、警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省と連携し、普及推進を図ってきました。

エコドライブ普及連絡会では、引き続きエコドライブの普及推進を図るため、行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる 11 月を「エコドライブ推進月間」とし、シンポジウムの開催や全国各地でのイベント等を連携して推進し、積極的な広報を行うこととしております。シンポジウムや各イベントの詳細については別添 1 資料を御参照ください。

2. 『エコドライブ 10 のすすめ』について

エコドライブ普及連絡会では、これまで、エコドライブとして推奨すべき「エコドライブ 10 のすすめ」を平成 15 年に策定し、平成 18 年及び平成 24 年の一部見直しを経て広報啓発を行ってきました。

今後も、『エコドライブ 10 のすすめ』をもとに、エコドライブの普及・推進に努めていきます。

『エコドライブ 10 のすすめ』の項目及びリーフレットは、以下のとおりです。項目の詳細については別添 2 資料を御参照ください。

『エコドライブ 10 のすすめ』

1. ふんわりアクセル「eスタート」
2. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
3. 減速時は早めにアクセルを離そう
4. エアコンの使用は適切に
5. ムダなアイドリングはやめよう
6. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
7. タイヤの空気圧から始める点検・整備
8. 不要な荷物はおろそう
9. 走行の妨げとなる駐車はやめよう
10. 自分の燃費を把握しよう

(本発表資料のお問い合わせ先)

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー対策課長 福田

担当者: 畑下、霜鳥

電話: 03-3501-1511(代表)内線 4541

03-3501-9726(直通)

経済産業省製造産業局自動車課長 前田

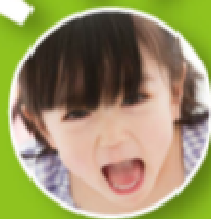
担当者: 石井、山中

電話: 03-3501-1511(代表)内線 3831

03-3501-1690(直通)

10も勧められたら
おぼえられないよ!!

むずかしいよお～



だから、ひとつずつ
覚えていけばいいじゃん!

エコドライブ10のすすめ

エコドライブとは、燃料消費量やCO₂排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる“運転技術”や“心がけ”です。またエコドライブは、交通事故の削減につながります。燃料消費量が少ない運転は、お財布にやさしいだけでなく、乗業者が安心できる安全な運転でもあります。心にゆとりをもって走ること、時間にゆとりをもって走ること、これもまた大切なエコドライブの心がけです。エコドライブは、誰にでも今すぐに始めることができるアクションです。小さな覚悟を習慣にすることで、あなたの運転が変わり、社会が変わります。はじめてみましょう、エコドライブ。

1 ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう（最初の5秒で、時速20km程度が目安です）。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。焦らず、穏やかな発進は、安全運転にもつながります。

2 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

走行中は、一定の速度で走ることが心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

3 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

4 エアコンの使用は適切に

車のエアコン(A/C)は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。また、冷房が必要なときは、車内を冷やしすぎないようにしましょう。たとえば、車内の温度設定を外気と同じ25℃に設定した場合、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。

5 ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐車の際は、アイドリングはやめましょう(※1)。10分間のアイドリング(エアコンOFFの場合)で、130cc程度の燃料を消費します。また、現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です(※2)。エンジンをかけたらすぐに出発しましょう。

6 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを利用して、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕をもって出発しましょう。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。たとえば、1時間のドライブで遅に速い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。

7 タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します(適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合)。またエンジンオイル・オイルフィルタ・エアクリエナメントなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

8 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。

9 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車はやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞をもたらします。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因にもなります。迷惑駐車のない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎます。

10 自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に装備されている燃費計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。

データは約1000台の乗用車、トラック、バスなどの実証実験

※1 交差点で自らエンジンを止める手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため注意しましょう。(自動アイドリングストップ機能搭載車は問題ありません。)
-手動アイドリングストップ時に何らかのブレーキを踏むとブレーキの動きが悪くなります。
-慣れないと誤動作や緊急ブレーキが働きます。またバックブレーキなどの緊急制動の低下によりエンジンが再始動しない場合があります。
-エアバッグなどの安全装置や方向指示などが作動しないため、緊急車両対応や坂道での手動アイドリングストップは避けましょう。

※2 一方で極度の寒暑や雨など特別な状況を除き、正しく暖めるウォームアップ走行で充分です。

エコドライブ普及連絡会
(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

エコドライブについて、さらに知りたい方はこちら
⇒<http://www.challenge25.go.jp/practice/carlife/>

その他のリーフレットは下記 HP を御参照ください。

URL : http://www.enecho.meti.go.jp/policy/saveenergy/eko10_1.pdf

http://www.enecho.meti.go.jp/policy/saveenergy/eko10_2.pdf

http://www.enecho.meti.go.jp/policy/saveenergy/eko10_3.pdf

http://www.enecho.meti.go.jp/policy/saveenergy/eko10_4.pdf

http://www.enecho.meti.go.jp/policy/saveenergy/eko10_5.pdf

http://www.enecho.meti.go.jp/policy/saveenergy/eko10_6.pdf

http://www.enecho.meti.go.jp/policy/saveenergy/eko10_7.pdf